

協働パイロット事業 (H22) 企画提案書

1. 事業の名称

団体名: 静岡県人権フェアラム

「ワークショップで考える人権」講座

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

静岡県民の意識調査の中で「市民の健やかな暮らしに必要なものの一つとして人権意識の向上」が挙げられていきます。が、一般的には「人権は堅いもの」「難しいもの」「生きたまま」が人権意識が低い傾向がある。本来の人権とは「心の平和」「生きろカ」で「プラスの言葉・身近かな不可欠のものである。この事に気がいって、正しく人権を理解する」ことにより、健やかな暮らしへ繋がる。そのため、市民対象の人権を学ぶ講座が必要である。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

私たち団体会員はこれまで単発的に人権啓発の講座を行ってきた経験を生かして行政には人権担当者と共に人権講座の実行委員として企画・運営、講師依頼、会場の提供をお手伝いしたい。
又、報に關しては、広報誌掲載、関係機関へのチラシ配布など行政のノウハウを生かし、共に市民への人権啓発を行って頂きたい。
私たち団体は具体的なワークショップの内容の提案、フォローアップを担当する。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

講座のねらいは、その場の人から人権の基礎や人権啓発当事者の話を聞くことにより、無意識の中での差別意識に気づき、自分も人権の主体者であることを認識する。
この場の気づきやワークショップ形式で「ロールプレイ」毎に話し合う。
声に出し、書き出すことにより、学びが身に付き、自尊感情が育まれる。そして他尊感情へと繋がり、日常生活や地域社会に反映される。まずは学習による気づきから意識の改革である。

5. 事業計画

・文対象 - 一般市民、人権に関心のある人 30人程度
・セミナーに ワークショップ形式を取り入れた講座を連続的に5回行う。

週一回 / 1時間 30分 内容 1時間 10分 講演

第1回目 - 「おどろかな社会のために」 金剛基

20分程度、これにて話し合い構築、総論、気づきを記入

第2回目 - 「気が付かなくなつた身近な人権侵害」

第3回目 - 「障がい者の人権」 青野全宏

第4回目 - 「同和と人権」 本間ひとみ

第5回目 - 「子どもと大人の人権」 香川 福子

）第3回 - 子どもの立場の人から人権侵害の話を聞く。

第5回目 - 自衛隊の人権の発表、ディスカッション、今後の展望 - 第3回の話を自覚のヒント - / 4ヶ所で連続で開催 (例 - 薬生窪学習センター)

6. スケジュール

8月 - 実行委員会発足、日程決め、会場決め、講師依頼、チラシ作成

9月 - 広報活動、講座生募集のお知らせ、チラシの配布、宣伝

・広報誌の記載依頼、下旬火曜日、受講生通知

10月 開講 週1回

11月 第5回目を開催

12月 人権週間記念講演のお知らせ

団体名：青年団 人権フォーラム

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

・代表世話人

金 明基 ― 元県立大学大学院・常葉大学大学院教授・比較文化
天野 一 ― 県人権地域改善推進会会長

・事務局

窪田美保 ― CAPスベキリスト・元県人権会議委員
山田有代 ― 韓国語講師
小林 弥代 ― 小・中学校教師
尾山奈津子 ― 高校教師

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

・永仁市市民団体青年団人権フォーラムは、1996年発足以来
14年間、県・市の行政とともに人権啓発活動を行ってきた。
各分野の第一人者の会員が多数おり、専門性が高い。
・講師派遣もおこなっております。

小・中・高校の生徒・学生向け保護者・教師向け
人権講座等
講演内容（市民向け）
「人権」ともに「差別」をなくす

協働パイロット事業 (H22) 見積書

団体名: 静岡個人権7才-ラム

企画のタイトル: 「ワークショップで考える人権講座」

項目	金額	説明
1. 学習会講師謝金	15,000	5人 × 30,000円
2. 会場利用費	9,000	1800円 × 5回
3. 4ラミネート資料代	17,000	案内4ラミネート 1,000部 資料 5回分 - 紙代・印刷
4. 会場内文具品	5,000	模造紙・マスキング紙等
5. 郵送料	6,000	30人宛 講演通知 案内等
小計 A	177,000	
消費税 B = A × 0.05	8,850	
合計 A+B	185,850	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

(様式4)

提案団体名	<p>静岡岡人権フォーラム</p>
企画案のタイトル	<p>「ワークショップで考える人権」講座</p>
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	<p>健康かに生きていくという人に危害を加えたり、その権利を奪ってしまう社会現象が微々たるない。このことを阻止めをかけるものも衣い方法はお互いの人権を尊重することであるが、その浮ぶの場が無、いかに「人権」に気がつかず、機能していかない。それによって、人権を自分には関係のないもの、難しいものと考え、人権を侵したり、おぼされた時に始めて人権を意識し、気づく傾向がある。</p> <p>健康やかな地域社会を築くキーワードが「人権を正しく理解し、人権尊重の心を育むこと」である。</p> <p>行政・教育機関とともに、家庭・地域に人権啓発をい、人権意識の環境づくりを推進は目指しており企画しました</p>
金額	<p>¥185,850.-</p>

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。